

文書書き換え

「共同文書ではない」

中国商務省 対話の意義も強調

【北京＝峯村健司】日中ハイレベル経済対話でまとめた報道文書を中国側が書き換えて公表し、日本側が訂正を求めている問題で、中国商務省は11日午前、記者会見を開いた。同省の呂克儉アジア局長は「今回の文書は共同文書や共同プレスコミュニケではなく、それぞれが会議の内容を紹介したものだ。中国側が勝手に内容を変えたわけではない」との声明を発表し、日本側の訂正要求には応じられないとの考えを示した。

呂局長は「文書の位置づけは、発表前に既に明確にしていた」と述べ、日本側も了解していたとの認識を示した。

一方で、呂局長は「両国が力を合わせた努力の結果、多くのよい成果が得られ、今後も対話を促進していきたい」と経済対話の意義を強調。近く

予定される福田首相の訪中を前に、事態を収束させたい姿勢を示したとみられる。

日中両国の外相や経済閣僚らを集めて1日に北京で開かれた日中ハイレベル経済対話で、中国側は双方が協議のうえ合意した報道文書の中から、日本側が人民元の為替レートの上昇に期待を表明

した部分と、エネルギー憲章条約に中国が参加する意義を日本側が指摘した部分を削除し、構成も一部変更して公表した。

高村外相は11日午前、「大きな中で(削除の)一事をもって信頼を損ねるとか言う必要はないが、ちゃんとしてもらった方がなお信頼が高まる」と述べた。国会内で記者団に語った。

また、高村氏は同日の参院外交防衛委員会で、「合意しているのに、その通り発表した方が日中関係のうえでいいと(中国側に)申し上げている。解決した方がベターだ」と語った。白真勲氏(民主)の質問に答え

た。